

返品受付不可例 移送時の梱包パターン



箱製品を宅配袋で返送されると化粧箱がつぶれ、返品不可となる事があります。

化粧箱への送り状直貼りは返品受付不可となります。

圧迫梱包されると内容物が変形する可能性があり、返品不可となる事があります。

返品受付不可例
汚れ・疵・開梱



例：テープの開封跡



靴底の汚れ(簡易な拭き
払いでの再生が不可能)

開梱跡のあるもの

商品を入れ替えての
再生が不可能な
パッケージ破損

返品受付不可例
疵・汚れ

例：商品自体に疵



例：商品への
名前記入



例：塗装の剥がれなど



商品自体に疵、汚れ



角当による
著しい箱破損

返品受付不可例 内容品への影響が危惧される箱破損



箱内部へ及ぶ貫通疵

内容物が確認できる
ほどの箱破れ

全長の寸法が1cm以上
縮んでいる化粧箱のシワ

返品受付不可例
その他



例：中敷が取り外されている

例：紙オムツの箱に入れ替えての返品



例：中身は左足だが、箱表記は右足

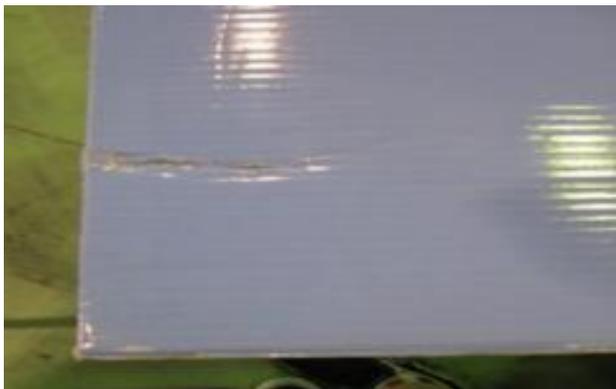


出荷時の梱包形状と異なる
(靴のサイズ合わせ以外は、開封時点で返品不可となります)

左右が違うパターン
(箱と中身が異なる)

アロン化成ポイント
シール見本 (シールを剥がされると返品不可となります)

再生用資材必要例
汚れ・疵・破れ



*ラミネートフィルム加工によるパッケージは再生できませんので、返品不可となります



商品パッケージの軽微な疵跡、あるいは汚れ・シミや袋破れなど
(返品手数料と別に、再生用資材費およびメーカーからの取り寄せ送料などが必要となります)